



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



10月30日、31日深川市道の駅「ライスランドふかがわ」で「ふかがわアップルフェスタ2021」が開催された。当日は旬のりんごを求め多くの人が訪れた。

→記事の詳細は4ページ

JAきたそらちでは、
ホームページとFacebookで、
魅力満載の情報を発信中です！
ぜひ、ご覧ください！

ホームページ



Facebookもチェック



目次

- JAきたそらちがグランプリ!!
第6回空知地区ゆめぴりかコンテスト…………… 2
- 総重量1キロ超え！新米デカ盛弁当販売中！…………… 3
- JAきたそらち青年部
くるるの杜で農畜産物フェアを開催…………… 5
- 年末・年始 営業時間のお知らせ…………… 11

1市2町へ令和3年産米の 作況報告・新米贈呈

10月20日、柏木孝文組合長をはじめ役員が深川市・雨竜町・北竜町を訪問し、令和3年産米の作況報告と新米贈呈を行った。

深川市では、深川産新米「ふくくりん」5kg、「ゆめぴりか」5kgを手渡し、受け取った山下貴史深川市長は「今年は少雨による干ばつ等があつたが、低タンパクの出来が良いお米となつた。生産者の日々の努力に敬意を表したい。今年も贈呈をしていただきありがとうございます」とお礼を述べた。

柏木組合長は3年産米の作況について、「今年は天候で苦労する年となり胴割れやシラタ（成熟していないお米）が多かつたが、タンパク・アミロースが低く美味しいお米になっている」と話した。



深川市



雨竜町



北竜町



JAきたそらちがグランプリ!! 第6回 空知地区ゆめぴりかコンテスト

11月2日（火）岩見沢市で開催された、第6回空知地区「ゆめぴりか」コンテストにおいて、当JA出品の「ゆめぴりか」が初のグランプリに輝いた。

管内のJAやホクレンなどで構成する「空知地区『ゆめぴりか』のブランド形成に向けた連絡協議会」が主催し、当日は管内の12農協から「ゆめぴりか」が出品された。

審査にあつては、同じ米穀店で精米を行い、加水量・浸水時間を統一し、同じ炊飯器を使い炊飯して、炊き上がったサンプルを7名の審査員が味や食感、香りなどを基準に審査が行われた。

JAきたそらち「ゆめぴりか」生産組合の岡田徹組合長は「米どころの空知で、この賞を取ることが目標だつた。生産者とともに喜びを分かち合いたい」と笑顔で語った。

11月22日（月）には、道内7地区の代表が出場する全道大会が開催され、当JA産「ゆめぴりか」の出品が決まっている。岡田組合長は「全道でも最高金賞を取りたい」と意気込んでいる。

【販売部 後藤】



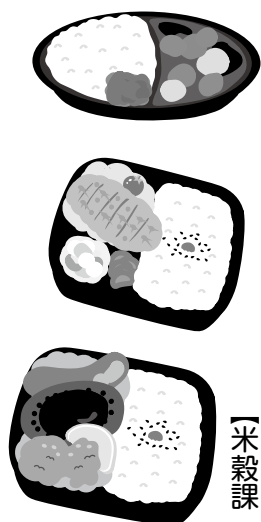
総重量1キロ超え！ 新米デカ盛弁当販売中！

販売部

本年豊作となったお米ですが、毎年米の消費が減少するなか、新型コロナウイルスの影響によりさらに消費が低迷している。この厳しい状況を打破するべく米の消費拡大を狙って、今回「そらちJAグループ北海道」より、空知産の新米を使った「デカ盛弁当」が空知管内各Aコープ、ホクレンショップで発売されることとなった。ラインナップはチキンカツカレー、かつ豚丼、とんかつ・ハンバーグ弁当、ハンバーグ弁当、鶏唐揚げ弁当の5種類で、飯は600gおかずは400g以上で総重量1kg以上とかなりのボリューム感で満足できるものとなっている。JAきたそらちでも役職員に弁当の取りまとめを行い少しでも消費に繋がるよう取り組んでおり、実際に弁当を食べた職員からは「非常に満足感があつて嬉しい。今年のお米も美味しいものとなつてるので沢山食べて少しでも力になれたら嬉しい」と話す。

「デカ盛弁当」発売期間は11月16日（火）～12月17日（金）。毎週火・金曜日にホクレンショップイチャン店に並んでいる。

【米穀課 松田】



JAきたそらち地域農業応援団 第4回応援団会議



～パエリア・ソーセージ作り～

11月19日、准組合員を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第4回応援団会議が開催された。今回は団員13名が出席し、音江地区にある「アグリ工房まあぶ」で深川産新米を使った「パエリア」と、深川豚を使った「深川ポークソーセージ」作りを行った。

今年も昨年同様、新型コロナウイルスの影響で外出が制限される中、外食をする機会も減り、合わせてお米の消費も減少している。今回行われたパエリア作りは、家でも簡単にお米を美味しく消費できる新米アレンジ料理として溝口めぐみさん（MEM地区）を講師に迎え、実際に調理を行いながらわかりやすく説明をして頂いた後、団員二人一組で協力し、深川産の新米と黒米を使ったパエリア作りに挑戦した。

続いて、農業振興部営農企画課の墓田真知子調査役より『女性の力で地域のコミュニティを育てる』と題し、JAきたそらちの女性部活動と女性大学の取り組みが紹介された。

昨年開校したJA女性大学「カレッジあみていえ」については一般女性市民や女性農業者が参加しており、毎回楽しく真剣に授業を行う様子を写真付きで紹介し、三期生の参加を呼び掛けた。

昼食時には、「ななつぼし」「ふっくりんこ」「ゆめぴりか」の3品種の深川産新米を用意し食べ比べクイズが行われ、それぞれの品種の特徴を楽しく学んだ。

参加した団員は「パエリア作りは家でも試してみたい。お米を美味しく食べて消費して、生産者の方の応援になれば」「パエリアもソーセージも上手に出来てとても楽しかった。女性部の活動も興味深い内容だった」などと感想を話す。



ふかがわアップルフェスタ2021

10月30日、31日の2日間、深川市道の駅「ライスランドふかがわ」で「ふかがわアップルフェスタ2021」が開催された。毎年りんごが旬を迎えるこの時期に深川市果樹協会（田川大輔会長）が主催するイベントとなっているが、当初予定されていた10月23日、24日についてはリンゴの収穫数量が減少していることから開催を取りやめることとなった。開催にあたり昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、恒例の「りんご詰め放題」や「りんご皮むき大会」などのイベントや試食販売を中止し、来場客にはマスクの着用やソーシャルディスタンスを呼び掛けた。

店頭には大人気の「紅将軍」や昔から定番の「レッドゴールド」、黄色品種の「もりのかがやき」、「ぐんま名月」など11種類、約1,700商品のりんごが並び、来場客は販売担当に「どれが一番甘いですか？」など、それぞれの特徴を聞きながら好みの種類を購入した。また、同時に開催されたリンゴジュースやリンゴジャムなどの加工品が当たるガラポン抽選会も人気を集めた。

深川産りんごは9月下旬から10月下旬をピークに11月上旬まで収穫作業が行われた。今年は昨年末の寒波や春の低温、夏の少雨による干ばつ、9月の降雹の影響で例年に比べ小玉傾向で傷が付いたりんごが多い年となった。そのため今年のアップルフェスタで販売されたりんごも例年に比べ減少している。収穫されたりんごは、市内果樹園の直売所や旭川市場を中心に販売されており、近郊ではイオングループのスーパーマーケットなどで販売されている。

【青果課 植田】



青果部

深川特産「ねばり長芋」即売会



11月6日と7日の両日、青果部集荷施設や道の駅「ライスランドふかがわ」など深川市内3か所を会場に、深川市特産「ねばり長芋」の即売会が開催された。

「ねばり長芋」は強い粘りと甘みが人気で、穫れたてを特価販売する同イベントには、開場前から長蛇の列を作るほど毎年多くの買い物客が来場する。今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症予防対策として、来場客に整理券を配布して入場制限を行い、またマスクの着用や手指の消毒、ソーシャルディスタンスを保つよう呼びかけた。

即売会では、4Lや3Lなど大きいサイズを中心に販売され、来場客からは「贈答用などにおすすめの規格は?」「長いもの上手な保存方法は?」など即売会を対応した生産者やJA職員に聞きながら、好みに合った長いものを購入した。販売開始から30分で完売する規格も出るほどの盛況を見せた。

「ねばり長芋」は長いも生産組合（河合 暢組合長）の組合員6戸が2・5haの作付けをしており、今年は10月26日より深川市MEM地区で掘り取り作業が始まった。

当JA青果部の担当職員は「今年は春の低温と夏の異常なまでの高温、干ばつにより生育が心配されたが、肥大期には天候と気温に恵まれた事もあり近年にはないほどの粘りが特徴となった」と話す。

また10月31日には青果部集荷施設で共選作業も始まり、道内の市場を中心に1万1千ケースを出荷し3千万円の売上げを見込む。

【青果部 河原】



令和3年度

北育ち元気塾第4回研修会 開催

11月11日、JA北いぶぎにて令和3年度北育ち元気塾の第5回研修会が開催され、元気塾生14名が出席した。

北海道農業協同組合中央会 岩見沢支所 小松龍太主査による「クミカン制度・営農計画書」について講義を受け、塾生は「クミカンの成り立ちや利用方法を詳しく知る事ができて良かった」と感想を述べた。

その後、北海道農業士 神尾誠氏より「経営事例の紹介『我が家の経営』」について講話を頂いた。神尾氏は様々な組織活動へ参加し、コミュニケーションの大切さや相互扶助の大切さを塾生たちに伝えた。

【営農企画課 石野】

農業 振興部



青年部 だより

JAきたそらち青年部

くるるの杜で農畜産物フェアを開催

10月17日、北広島市のホクレンくるるの杜にてJAきたそらち青年部と畜産課が合同で「JAきたそらち農畜産物フェア」を開催し、JAきたそらち青年部16名、畜産課1名が参加した。

今年度についても昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じた上での開催とし、深川産「ふっくりんこ」、雨竜産「ななつぼし」、北竜産「おぼろづき」の新米をはじめ、JAきたそらち産の野菜・果樹、深川産牛、幌加内そばなど多種多様な農畜産物を販売した。

当日は天候がすぐれず来店者数は多くはなかったが、お買い上げいただいたお客様には青年部からのメッセージ付きファームレターを配布し、きたそらちの農畜産物を十分にPRした。

【営農企画課 石野】





新風



農家後継者



氏名 渡邊 颯 さん
わたなべ はやて

年齢 21歳

就農年 令和3年4月

地区 深川支所 二巳地区
経営主 渡邊裕一 さん

経営面積 13・2 ha (水稻)

☆目指す農業

幼い頃から農作業の手伝いをしてきましたが、初めは乗り気でもなく、特にやりたいこともないという軽い理由で就農しようと考えていました。そんな中、高校を卒業し、様々な免許や資格を取得させてもらい、昨年からトラクターや田植え機、コンバインに乗らせてもらえたことで、今まではただ辛く感じていた仕事にやりがいと楽しさを感じるようになったと思います。

今後は、規模拡大とともに、色々な農作物の生産にも挑戦したいと考えています。技術や知識をいち早く身に付けられるよう頑張ります。皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新規就農者



氏名 中村 寛陸 さん
なかむら ひろみち

年齢 30歳

出身地 北竜町

趣味 バレーボール

研修先 深川支所多度志地区
農事組合法人 米道産
代表理事 堂田 幸男 さん

☆目指す農業

就農前、JAきたそらちの給油所で働いておりました。給油所で働いていた時期に、遠藤良明多度志地区代表理事から、田植えの手伝いの声をかけていただき、数年間手伝っているうちに、農業の楽しさ、作物を作る難しさを実感しました。そして、遠藤雅仁さんから声をかけていただき就農しました。

就農して2年目で、まだまだ知識や技術は少ないですが、1日でも早く、当法人の理事の皆様方や先輩方の知識や技術を覚えて、一人前の農業者になりたいと思っています。

今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【新規就農希望者受入農家・新規就農希望者募集】

JAきたそらちでは、JAホームページ・新農業人フェア等で新規就農者の募集をしております。新規就農希望者を受入れていただける生産者を募集しておりますので、人材確保に不安をお抱えの方はお気軽にご相談ください。

また、新たに従業員を確保される予定がある方へ、活用可能な事業をご紹介しますので、合わせてお問い合わせください。

- ◇ お問い合わせ先：農業振興部 営農企画課【TEL：0164-26-0134】
- ◇ ホームページ：<http://www.ja-kitasorachi.com/farmer/index.html>



女性部 だより

JAきたそらち女性部

さくらカレッジ「スタンドグラス講習会」を開催

10月25日から27日の間、JAきたそらち女性部さくらカレッジが営農センターで開催され3日間合わせて、57名が参加した。

営農センターの増築に伴い金融共済部の入口に、女性部が作ったスタンドグラスを飾ることが決まり、今回は部員の皆さんの協力により制作し寄贈することになった。

講師は、当JAの女性部員でもある幌加内町スタンドグラス作家吉成洋子氏を迎えた。

スタンドグラスの制作にあたりガラス一枚一枚、四方にテープを貼り付けはんだごてを使用し接着していく作業を行った。講師の先生から丁寧に教えてもらいながら皆さん真剣に制作を行っていた。初めは上手に作れるか不安そうだったが、少しずつ上達し寄贈分のスタンドグラスを作り終わった後、



【営農企画課 佐藤】

動物やお花、鏡付きのものなど好きなデザインを選び、各自持ち帰り用のスタンドグラスを制作した。参加者からは完成品を見て「ガラスがキラキラしていてデザインがとってもかわいい」「もっとたくさん作って飾りたい」などとても好評であった。多くの女性部員さんの協力のおかげでたくさんスタンドグラスを制作することができ、皆さんも作品の展示をとて楽しみになっていた。

この後は、吉成氏に農産物をデザインしたスタンドグラスを制作していただき完成となる。尚、展示については令和3年4月1日にお披露目される。

多度志支部

10月21日



北海道札幌市 北海道神宮・北大銀杏並木の見学



納内支部

11月10日～11日



北海道白老町 ウポボイの見学



女性部各支部

視察研修を実施

女性部多度志・納内支部では、毎年秋作業後のこの時期に視察研修を行っており、個人では中々行くことの出来ない場所での体験を、女性部活動や農作業に活用している。

【深川支所 田中、堀口】



女性部 だより

女性部北ブロック

支部長交流会 開催

10月22日、JA女性部北ブロック支部長交流会が開催され、当JAから8名、JA北いぶきから3名の支部長が参加した。

今回は、(株)藤谷果樹園とアグリ工房あぶにて生米パン&アップルパイ作りとリンゴ狩りを体験した。

アグリ工房あぶでは、家の光9月号に掲載されていた生米パン作りを体験した。生米パンは小麦を一切使用せず、ご飯を使用するため小麦アレルギーの方には安全で安心できるパンである。このパンはこねる作業が無く、すべての材料をミキサーに入れて混ぜるため、皆さんからは「こどもと一緒に簡単に作れるのがいい」「小麦アレルギーの子でも食べられるところがうれしい」などの声が上がった。

また、アップルパイは、深川産のリンゴを使用し、パイ生地をいろんな形の型を使って型抜きをするなど、かわいらしく美味しいアップルパイを作ることができた。

(株)藤谷果樹園ではリンゴ狩り体験を行い、悩みながらも沢山実っている中からそれぞれ自分でりんごを選ぶなど楽しく収穫体験を行うことができた。収穫後はりんごの他に旬のプルーンやナシなどを購入し買い物を楽しんだ。昼食ではまあぶにて料理を堪能し、女性部の行事活動など情報交換をしながら交流を深めることができた。

【宮農企画課 佐藤】



北電支所

札幌のチ・カ・ホで

「北電ひまわりライス」をPR販売

11月1日から3日までの3日間、札幌駅前通地下広場(チ・カ・ホ)にて「北電町ひまわり観光・物産フェア」を開催し、佐野町長をはじめ、北電町職員、指導農業者、農業委員、北電振興公社職員、黒千石事業協同組合、建設業協会関係者、当JA役職員が参加した。

北電町特産品の普及拡大・観光PR促進を目的としたイベントで、北電ひまわりライスの新米(うるち米・ななつぼし・おぼろづき・ゆめびりか・きたくりん・発芽玄米もち米・風の子もち)をはじめ、黒千石大豆関連商品、ひまわり油製品、田からもちおかきなどを販売した。また、新規就農や移住・定住などのブースも設け、農業相談や移住相談も同時に行った。

新米のすくい取りは長蛇の列ができるほどの人気で900kgを超える売上げとなった。また、もち米の「風の子もち」1kgは最終日の早々に完売となり、その他うるち米2kgと発芽玄米1kgも用意したすべての商品が完売するほど好評だった。

今回は緊急事態宣言が解除されてから1カ月ほど経ち、人出も増えつつある中での開催で、北電町への観光、北電ひまわりライス、北電町の特産品など北電の取り組みを思う存分PRすることができた。コロナ禍でイベントが制限される現状ではあるが、今後も感染対策を万全に行い積極的に北電ひまわりライスの販促活動を行っていききたい。

【北電支所 渡辺】



北竜支所

北竜町ひまわりライス生産組合・
北竜町もち米生産組合

北竜町内福祉施設へ新米贈呈

11月1日、北竜町ひまわりライス生産組合（北清直人組合長、組合員114戸）と北竜町もち米生産組合（藤井明紀組合長、組合員7戸）が、町内の特別養護老人ホーム永楽園と認知症高齢者グループホーム碧水に、「ゆめぴりか」と「風の子もち」の新米を合わせて160kgを贈呈した。

両生産組合では地元産の新米を食べていただきたいと毎年贈呈を行っており、福祉施設の入居者に喜ばれている。当日は北清組合長と藤井組合長が施設を訪問し、「今年もおいしいお米ができました」と新米を手渡した。

両施設からは「いつもありがとうございます。おいしいいただきます」とお礼の言葉をいただいた。

【北竜支所 鷺尾】



特別養護老人ホーム 北竜町永楽園



認知症高齢者グループホーム碧水

幌加内支所

幌加内町うるち米生産組合・
幌加内町もち米生産組合

幌加内町教育委員会へ 新米贈呈

11月8日、幌加内町うるち米生産組合（北村守組合長、生産組合4戸）と、幌加内町もち米生産組合（古林茂組合長、中西博副組合長、生産組合19戸）が同町の教育委員会へ「ゆめぴりか」と「きたゆきもち」30kgずつ新米の贈呈を行った。

贈呈の際には「今年は猛暑日が続く畑は干ばつになったが、もち米は平年より収量が多く、うるち米は平年並みの収量でした」など作況について報告し、子ども達に幌加内町のお米を味わってもらいたいと村上雅之教育長に手渡した。

贈呈された新米は、同町の小・中学校、高校の給食で振舞われる。

【幌加内支所 岩本】



11月16日、札幌市において「第30回JA北海道大会」が開催された。

JA北海道大会は、JAグループの組織・事業の強化を図るため、3年に一度開催されており、今回の第30回大会は、目指すべき将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の実現」に向けて、今後3年間を展望し、JA経営を取り巻く事業環境に対応するべく組合員・JA・連合会が意識・目標を統一させるため開催された。

例年の大会では、全道JAの組織代表が一堂に会して開催されるが、今回の大会においては、新型コロナウイルス感染防止対策として、各JAの代表1名が札幌市の本大会に参加することとされた。当JAからは、柏木組合長が本大会へ参加し、その他のJA役職員、青年部・女性部役員の50名程が、JAの本所においてWEB視聴を行った。

大会では、開会宣言の後、2議案が上程され、決議・採択された。

JAにおいては「基本目標」「重点取組事項」をふまえて、地域の実態等に即した創意工夫ある実践方策を検討し、中期計画や事業運営へ反映させ、着実な実践を図ることとしている。



【基本目標1】「JA運営の好循環」に向けて対話の成果を実践 ～加速する社会・経済環境の変化への適応～

重点取組事項

- (1) 地域・JAの課題や「対話の着眼点」をテーマに、充実した対話を実践
- (2) 実践方策（＝対話の成果）の実践・改善によりJA運営を好循環させる

【基本目標2】「JA運営の好循環」を支える人づくり・JA経営の強化

重点取組事項

- (1) 組合員・役職員の「目指す人材像」を実現するための環境づくり
- (2) 収支改善サイクルの実践による、持続可能なJA経営基盤の確立・強化

金融共済イチャン本所における業務案内

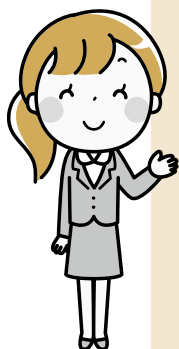
**金融
共済部**

ホクレンショップイチャン店の改修工事に引き続いて行われていた、『金融共済イチャン本所』の移転工事がこの程完了し、12月6日（月）より新金融共済店舗での営業がスタートします。

今回の工事に伴い、「貯金業務」「共済業務」が金融共済イチャン本所へ移転します。

「融資業務」「渉外業務」につきましては、現在の本所で業務を継続いたします。

取扱業務・電話番号等は、右記の通りとなっておりますので、ご確認願います。



●金融共済イチャン本所（ホクレンショップイチャン店内） 北光町1丁目10番15号

取扱業務	電話番号	FAX番号
貯金窓口業務 （ATM含む）	0164(22)6618	0164(23)5539
共済窓口業務	0164(22)6619	

●金融共済部 （既存本所 ※R4.4より新本所（営農センター）へ移転します）

取扱業務	電話番号	FAX番号
融資業務	0164(34)7150	0164(34)7152
渉外業務	0164(34)7151	

年末・年始 営業時間のお知らせ

金融共済部		12月28日(火)		12月29日(水)		12月30日(木)		12月31日(金)		1月1日(土)~ 1月3日(月)		1月4日(火)		1月5日(水)		1月6日(木)			
		窓 口	ATM	窓 口	ATM	窓 口	ATM	窓 口	ATM			窓 口	ATM	窓 口	ATM	窓 口	ATM		
本 所		通常 営 業		通常 営 業		通常 営 業		休		休		通常 営 業		通常 営 業		通常 営 業			
金融共済音江支所																			
金融共済深川支所																			
金融共済納内支所																			
金融共済多度志支所																			
金融共済雨竜支所																			
金融共済北竜支所																			
北竜町COCOWA																			
金融共済幌加内支所																			
経済部燃料課 (給油所)		12月28日(火)		12月29日(水)		12月30日(木)		12月31日(金)		1月1日(土)		1月2日(日)~ 1月3日(月)		1月4日 (火)		1月5日 (水)		1月6日(木)	
セル フ	音 江	通常 営 業		通常 営 業		通常 営 業		9:00~15:00		休		9:00~15:00		9:00 15:00		9:00 15:00		通常 営 業	
	深 川																		
	イチャン																		
フ	納 内																		
多 度 志																			
北 竜																			
幌 加 内																			

青果部 道の駅直売所eciR

休業 12月31日(金)~1月2日(日)

※通常営業時間は9:00から17:00となります。

経済部 資材店舗

休業 12月29日(水)~1月5日(水)

※通常営業時間は9:00から17:00となります。

合格おめでとうございます

資格認定試験に次の職員が合格いたしました。

【内部監査士】

山田 未来彩 (金融共済部共済課)

高野 あゆみ (金融共済音江支所)

富田 貴浩 (北空知広域農協連出向)



JA職員 農作業実習報告 第1回

当JAでは、人財育成プログラムの一環として、入組2年目の若年職員を対象とした農作業実習を実施いたしました。近年、農家子弟以外の新規採用職員も増え、農業に対する接点も乏しいことから、農業体験を増やすこと、さらに組合員の想いを直接職員へ伝えていただくことを目的に、JA非常勤役員宅にて実習をさせていただきました。各実習生の感想と今後の抱負を第1回から第4回に分けて掲載しご報告させていただきます。

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
青果部 青果課 稲田 集哉 (令和2年4月入組)			
①深川支所多度志地区 遠藤 良明 地区代表理事宅(農事組合法人 米道産)		②令和3年5月17日～5月21日	
③田植え作業(苗箱積み、田植え機苗補充)			
④私自身、農作業を今まで行ったことがなかったため、今回の農作業実習はとても良い経験になりました。また、現在は青果部に所属していることから、田植え作業において苗の活着を促すために水を張り過ぎないことが重要など、お米に関する知識を得られたことも大変良かったです。 実習中には、足を踏み外して田植機から田んぼに落ちたり作業が分からず止めてしまったりなど、迷惑をかけてしまうこともありましたが、遠藤地区代表理事をはじめ、奥様やご子息、米道産の従業員の方々には大変よくしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。さらに、農作業がとても体力を使うものと感じ、改めて組合員の苦労を実感し、今後の農協職員人生において非常に意義のある実習となりました。 今回の経験を活かして、今後の業務にも真摯に取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。			
			
北竜支所 営農課 尾崎 壮 (令和2年4月入組)			
①北竜支所 北清 裕邦 地区代表理事宅		②令和3年5月19日～5月25日	
③田植え作業(苗箱積み、田植え機苗補充)			
④実習にあたっては日常業務の中で育苗巡回を行っていたことから、無事に苗を育て田植えを始められたことに対する喜びをより強く感じることができました。 作業では、田植機に自動操舵機がない場合、方向転換のタイミングで苗を補充するため植え付けが止まる時間がありますが、2人乗ることで植え付けを止めないで作業することができ大幅に時間を短縮することができます。しかし、足場が少なく揺れる中での作業となることから、経験不足の私には難しい作業であると感じました。また、苗はがしや運搬等も鎮圧などで省力化は進んでいますが、一連の作業工程が多いことから人材の確保も必要であると感じました。 今回の実習では、田植えの初日から最終日までを体験することができ、より生産者の目線に近づくことが出来たと思います。また、充実感を味わえたことでお米づくりにおいて田植えがいかに重要であるかが分かり、出来秋のドキドキ・ワクワク感を感じることができました。貴重な経験をさせていただきましたありがとうございます。			
			



石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第18回

目標が持つ大切さ

早いものでもう師走。今年は皆さん方にとりどのような年だったでしょう？何かとコロナ禍に悩まされた一年といえるかもしれませんね。そんな中で私は、去る9月18日に4年ぶりに拙著を上梓させて頂きました。本のタイトルは国が「働き方改革」を掲げた以降、よく議題にした「豊かに働き、すてきに生きる」。これは以前、この広報誌でも紹介をさせて頂いた前著、「縁を紡ぎ、人を育む」の改定の意味もあつてなのですが。加えて、「書こう」と決意をした大きな理由の一つに、この1年半あまりにわたり、私達を苦しめてきたコロナ禍があつたのです。というのも皆さんもご承知の通り、北海道において2度目の緊急事態宣言が发出されたのが5月16日でした。カウンセラーの顔を持ち、講師を生業にする私にとって、その研修スタイルは対面が軸。そうするとコロナ禍で求められる「密を避ける」ということとは真逆になります。当然、キャンセルや延期等へと繋がり、巣ごもり生活にホトホト嫌気がさし、「自分も後期高齢者。この流れは『もう仕事を止めてもいいよ』という天の声では」と、時には気持ち揺れた時もありました。でも、それなら「新型コロナウイルスに負けることになる。悔しいではないか。逆にこの与えられた時間を生かすことはできない

か？そこで浮かんだのが本の出版だったのです。なお、丁度、その頃、私が研修のサブテキストとしてこれまで活用してきた前著も、3刷まではいったものの残部が少なくなり、また、今回のコロナ禍の環境変化で、馴染みにくくなった箇所もあり、「どうしますか？」と出版社から相談を受けていた時期でもあり、「それならこのステイホーム生活を活用しようではないか。それが前向きな生き方というものだ」と。その際、私が立てた目標が「1日1話」でした。宣言は当初、31日までだったこともあり、期間に合わせて「16のメッセージ」で書き始めました。だが、途中で期間が延長をされたことを受け、更に倍ほどに膨らませ、サブタイトルを「自分を磨くあなたに贈る30の応援メッセージ」に変えて。とはいえ、さすがに70歳半ばでの執筆は容易なことではありません。目はしょぼつくし、体力的にもしんどい。ただ、これは自分が立てた目標です。目標は立てることが目的ではなく、実現されてこそ意味があります。しかも私は、常々、研修等でそれを皆さんに説いている身でもあります。書き終えた時には、出版社の方から「先生、本当にやりましたね」とある意味、驚きにも似た褒めの言葉を頂戴したものです。ところで目標には最低限、次の3つが必要になります。「何を・いつまでに・どのレベルまで」。それにより、成功か失敗

かを計る尺度「でなければなりません。今回の私の場合でいえば「本の出版に向け執筆・緊急事態宣言中に、原稿を書き上げる」くらいになりましょうか。さしずめ成功したといえるでしょう。これは、こうした明確な目標があつたからこそ、何とか上梓にこぎつけたといえます。確か、この目標が薄いと「その内」となり易く、結局、「出来なかつた」などに結びつきやすいのです。これが目標の持つ意味なり重要性といえるでしょう。苦勞のゆえあつてか、発売から2週間後に出版社の方から「増刷をしたいのですが」といううれしい相談を頂き、この11月10日には2刷が出される運びになりました。なお、私はこの執筆に際し、「本を通してコロナ禍で落ち込む気持ちを少しでも元気にすることができたら」というような思いをベースにペンを運んだのですが、「先生の本を読み元気を頂きました」などという言葉を頂戴すると、それにより逆に背中を押される私がいまいます。拙著の1節にもなっていますが、まさに「生かし、生かされて」の心境です。なお、この本ではこれまでのお付き合い等もあり、農業関係のことも結構、話題にしております。電子出版もされており、組合員の皆さんにも一読くださると幸いです。

それでは次回、年が明け2月の再会を楽しみに。

【著者】石田邦雄（いしだくにお）氏

1946年北海道新得町生まれ。（有）石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかり易い研修が特徴。著書に「産業力コンサルティング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。



現在の水際対策の状況及び在留資格上の 特例措置(技能実習・特定技能)

第1部

JA北海道中央会顧問弁護士（入管届出済弁護士）
社会保険労務士
杉田 昌平

1 はじめに

令和3年9月30日に、北海道を含めた地域に発出されていた緊急事態宣言は解除される見込みとなった。緊急事態宣言の解除は、新型コロナウイルス感染症による感染者が減少し、事態が改善したことの表れであるといえる。しかし、国際的な人の往来という観点で見たとき、新型コロナウイルス感染症の影響はいまだ続いた状態にあり、外国人材の受入れにおいては検討しなくてはならない論点が複数あるのが現状である。

そこで、今回から合計3回に渡り、外国人材の受け入れに関して、現在の状況を整理し、対策を検討することとしたい。

2 水際対策の状況について

新規に外国人が日本に入国する手続として、令和2年6月18日付「国際的な人の往来再開に向けた段階的措置」（第38回新型コロナウイルス感染症対策本部資料2）及び令和2年7月22日付「国際的な人の往来の再開等」（第41回新型コロナウイルス感染症対策本部資料3）により、ビジネストラック及びレジデンストラックという例外的な入国手続が設けられていた。

しかし、令和3年1月13日付「水際対策強化に係る新たな措置（7）」により、緊急事態宣言が解除されるまで、全ての対象国・地域との間のビジネストラック及びレジデンストラックの運用は停止され、両トラックによる外国人の新規入国は認められなくなった。

この両トラックの運用の停止は現在まで続いており、令和3年1月にレジデンストラックで33,740名、ビジネストラックで951名の新規入国があったのを最後に、資料が公表されている2021年8月末時点まで、両トラックによる外国人の新規の入国は0である（出入国在留管理庁「外国人入国者数及び日本人帰国者数の推移（令和2年8月～令和3年8月）（速報値）」）。

この間、水際対策強化に係る新たな措置は、令和3年9月27日付「水際対策強化に係る新たな措置（18）」までの各措置が発出されている。この間に発出された水際対策強化に係る新たな措置は、主に、変異株に対する対策について定めたものである。本コラム執筆時点で最新の措置は（17）及び（18）である。

令和3年9月17日付「水際対策強化に係る新たな措置（17）」では、フィリピン等の一部の国・地域からの入国について、検疫所長が指定する宿泊施設での3日間の待機を求めること等が定められている。

そして、令和3年9月27日付「水際対策強化に係る新たな措置（18）」では、ファイザー、アストラゼネカ、モデルナのワクチンで要件を満たす接種証明書を有する者については、令和3年9月17日付「水際対策強化に係る新たな措置（17）」での措置を緩和することを定めている。また、令和3年9月27日付「水際対策強化に係る新たな措置（18）」ではワクチンの種別だけではなく、有効と認められるワクチン接種証明書発行国・地域も定めており、アジアでは、インドネシア、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナム、香港及びマレーシアとなっている。

もっとも、現時点では、上述のとおり、ビジネストラック及びレジデンストラックは停止された状態が続いており、ワクチンの接種証明書が外国人材の受け入れに直結するわけではない。

令和3年9月28日の菅内閣総理大臣記者会見では、国際的な人の往来についての制限の緩和に言及があった。今後、制限が緩和される際には、ワクチン接種証明書が何らかの機能を持つ可能性がある。その際には、受け入れようとする外国人材の送出国について、ワクチンの種別及び有効なワクチン接種証明書の発行国であるかという点については、注意が必要となるものと思われる。

3 在留資格上の特例措置（技能実習・特定技能）

「技能実習」及び「特定技能」における在留資格の特例措置については、出身国・地域によるが、新型コロナウイルス感染症による帰国困難のための特定活動（6月、就労可）、雇用維持のための特例の特定活動（1年、就労可）等が使用できる状態が続いている。

今後、国際的な人の往来についての制限の緩和がなされ、出入国が通常状態に回復していく過程で、徐々に「帰国困難」状態が解消していくことが見込まれる。この際、法的には、特例の特定活動で在留する外国人について、現在の在留資格の更新が可能かという問題が生じることとなる。これも現時点で確定的な結論があるわけではないが、「帰国困難」の状態が解消した場合は、在留期間の更新が認められず帰国する例も出てくるものと思われる。

また、出入国が通常状態に回復した場合、帰国が困難であったから在留を継続していた者が進んで帰国することも考えられる。この際、帰国と新たな外国人材の受入れが同時に進めば新たな問題が生じる可能性は少ない。しかし、送出国も新型コロナウイルス感染症の影響で施設を制限して営業していることもあり、出入国が再開してすぐに通常の送り出しが再開できるとは限らない状況にある。そのため、国際的な人の往来についての制限の緩和によって一時的に受け入れより帰国の方が多くなる状態も想定できる。

4 結論に代えて

このように、現時点では、水際対策の状況及び在留資格上の特例措置（技能実習・特定技能）の両方とも流動的な状態にある。特に、ワクチンの接種が進み、国際的な人の往来についての制限の緩和の兆しを感じられつつある状態にある。

このような流動的かつ状況が大きく変化し得る状態であるため、結論として一定の対策を申し上げるのが難しい状態であるが、今後の水際対策の変化に対応できるよう、交流のある送出国との連絡の頻度を高め、変化が生じた際にそれに応じた対応を執ることができるよう、事前に備えることが望ましいといえる。

杉田弁護士 の 略歴

杉田 昌平

弁護士（JA北海道中央会顧問）
（入管法施行規則に基づく届出済弁護士）
社会保険労務士

センチュリー法律事務所（東京）
東京弁護士会

■ 経歴

2007年3月に慶應義塾大学法学部を卒業し、2011年12月にセンチュリー法律事務所に入所。その後、名古屋大学やハノイ法科大学で特任講師や客員研究員に就任。

■ 主な業務分野

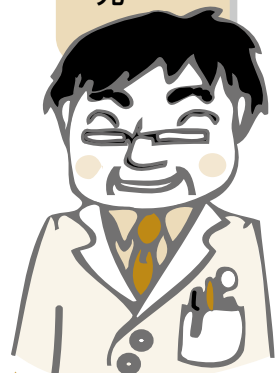
入管業務、知的財産法、事業再生、コンプライアンス、紛争処理等



ロコモの考え方

みきた整形外科クリニック 院長 三木田

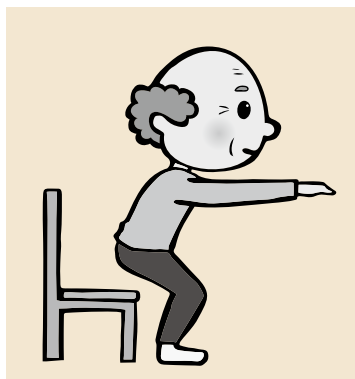
光



ロコモとは運動器の障害によって、立つ、歩くという移動機能の低下をきたした状態をロコモティブシンドローム（略称：ロコモ）と呼びます。日本は高齢化率：28・4%（2019年）とそのスピードの速さで世界でも類を見ない超高齢社会を迎えています。人生100年時代とも呼ばれ、運動器の入院、手術例は50歳以降急増しています。運動器の健康が長寿に追い付いていないのです。そこで新たな健康管理、工夫が必要とされ、ロコモはその工夫の一つとなります。ロコモの評価は、「立ち上がりテスト」と「2ステップテスト」を用い直立二足歩行を行うには、立ち上がるための「抗重力筋の発達」とステップのための「股関節の可動域と足での蹴り出し機能」を直接的に評価できる検査法として用いられています。

ロコモの重症度判定法は、移動機能の評価する「立ち上がりテスト」「2ステップテスト」運動器に関する自覚症状等を問う「ロコモ25」の3つのロコモ度テストがある。臨床的判断値としてロコモ度1（軽症）から2、3がある。運動器の障害（ロコモ）は予防が可能であり、早期発見により疾患（変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症など）の進行予防や改善が期待できます。ロコモ度2に該当した人は整形外科を受診し運動器の評価をすることが大切です。

ロコモーショントレーニングの基本として「片脚立ち」と「スクワット」である。下肢筋力やバランス能力をつけることができます。ロコモトレにプラスする場合、ヒールレイズやフロントランジを指導します。開眼で一方の足を5〜10cm程度上げて他方の足で立つという簡単なものです。これを左右1分間ずつ1日3回行うことを目標とします。推奨されているスクワットは、腰を後ろに引いて上体を前傾しながら膝を曲げ、再び立ち上がるもので、膝は90度程度まで屈曲し、つま先より前に出ないようにする。腰を下ろす動作に3〜6秒、上げる動作に3〜6秒かける。息を止めずに、5回から10回行い、1日3セットを目標とする。ヒールレイズは立位で踵の上げ下げを行い、踵を床にどんと打ち着けないようにしましょう。下腿三頭筋や足趾の屈筋を強化するもので、20回を3セット行う。フロントランジは、両手を腰に当てて両脚そろえて立った状態から片脚を大きく前方に踏み出し、ゆっくり腰を落とし、その後、再び腰の位置を上げ、踏み出した足をもとに戻す運動である。5回から10回を1セット、1日2〜3セット行う、高齢者は転倒の危険があるため注意して行ってください。



金融共済部 融資課からのお知らせ

令和3年農業災害等にかかる金融支援対応のお知らせ

令和3年6月以降の干ばつによる被害に対する資金

①農林漁業セーフティネット資金（公庫資金）

※災害についての市町村長の罹災証明が**必要**

- 借入期間：10年以内
- 借入限度額：【一般】簿記記帳を行っていない場合
600万円以内
【特認】簿記記帳を行っている場合
年間経営費又は粗収益に相当する金額のいずれか
低い方の6/12以内
- 利率：8年以内0.16%、8年超9年以内0.17%、
9年超10年以内0.18%（令和3年11月18日現在）
- 経営内保証：個人～配偶者または後継者
法人～法人代表者
- 担保：600万円超借入の場合は担保徴求あり

②JA農業経営緊急支援資金（JA資金）

- 借入対象者：正組合員
- 借入期間：原則5年以内（最長10年）
- 借入限度額：借入通算残高1,000万円以内
ただし、売上高が5,000万円超の場合は売上高の20%以内
- 利率：0.45%
- 保証料：0.40%（農業信用基金協会保証）

新型コロナウイルス感染症の影響に対する資金

①農林漁業セーフティネット資金【新型コロナ特例】（公庫資金）

※災害についての市町村長の罹災証明**不要**

- 借入期間：15年以内
- 申込期限：令和3年12月30日迄（特例措置）
- 借入限度額：【一般】簿記記帳を行っていない場合
1,200万円以内
【特認】簿記記帳を行っている場合
年間経営費又は粗収益に相当する金額のいずれか
低い方の12/12以内
- 利率：8年以内0.16%、
8年超0.17～0.30%（令和3年11月18日現在）
【貸付当初5年間実質無利子化措置】
- 担保：実質無担保・無保証人措置

詳しくはお近くのJA窓口までお気軽にお問合せ下さい。

 JAきたそらち

本所	TEL 0164-34-7150	多度志支所	TEL 0164-27-2111
音江支所	TEL 0164-25-1111	雨竜支所	TEL 0125-77-2331
深川支所	TEL 0164-22-2171	北竜支所	TEL 0164-34-2280
納内支所	TEL 0164-24-2211	幌加内支所	TEL 0165-35-2024



JAグループ北海道では、令和3年11月16日に、第30回JA北海道大会を開催いたしました。本大会は、グループの基本方針を確認し関係者の意識を統一することを目的に、3カ年に1度、全道から組合員の皆さんの代表者が札幌に集まり開催しているものです。

今回の大会では、グループの将来ビジョン“北海道550万人※と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」”を実現すべく、令和4～6年度におけるグループの基本目標として、「JA運営の好循環に向けて対話の成果を実践」「JA運営の好循環を支える人づくり・JA経営の強化」が定められました。

本決議をもとに、組合員・JA・連合会一丸となって、JA運営のスパイラルアップに繋がるよう取り組みましょう。



↑大会実行委員長挨拶を述べる中央会小野寺会長

※550万人とは、「道民」と「北海道にゆかりのある道外の方々」のことを指します。

JA北海道信連



特殊詐欺被害については、新聞・テレビなどで連日報道されている通り、新たな手口が広がるなど大きな社会問題となっています。JAバンク北海道では、11月～1月にかけて、道内のJAバンク店舗でご来店者に対する声かけ運動を行うとともに、STVラジオでオリジナルコーナーを設け、北海道警察の専門家から、詐欺の手口や気を付けるポイントを説明いただくなど、啓発活動に取り組んでいます。JAバンクでは、引続き北海道警察と連携し、特殊詐欺被害の撲滅に向け取り組んで参ります。



JA共済連北海道



JA共済連では、地域社会貢献活動の一環として、昭和50年から毎年度内各市町村の消防本部に救急車を寄贈しております。今年度の寄贈台数は3台であり、十勝地区の中札内消防署、留萌地区の羽幌消防署、上川地区の上富良野消防署に寄贈いたします。

当年度の救急車の寄贈が完了しますと、寄贈させていただきました台数は累計で212台となります。

今後も行政とJAとの連携を図りながら、組合員ならびに地域住民に安心と安全の提供を続けるように努力してまいります。



ホクレン



ホクレンは、北海道日本ハムファイターズと共同で取り組んでいる「北海道農業応援プロジェクト」の一環として、10月1日に札幌ドームで開催された北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ戦に協賛し、「ホクレン北海道農業応援ナイター」として試合が行われました。試合観戦に訪れた来場者に向けて北海道農畜産物のPRや農業への理解を深めてもらおうと特設ブースを設置。ホクレン大収穫祭などのチラシを配布するほか、大型ビジョンでCM放映を行うなどPR活動を行いました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓発推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。本号ではプレゼント企画も行っております。QRコードからWeb上で閲覧・応募が可能となっておりますので、ぜひご応募ください。



↑ Web 上の閲覧・
応募はこちらから

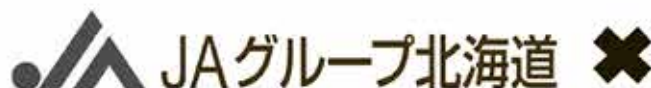


JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。
AGRIACTION!
HOKKAIDO



JAグループ北海道からのお知らせ



**牛乳でつくる！
北海道♪ミルクカルボナーラ**

材料（2人分）

- ・特選よつ葉牛乳…2000ml
- ・よつ葉バター 加塩…10g
- ・フェットチーネなど（なければ普通のパスタで代用可）…200g
- ・ペーコン…50g

北海道コンサドーレ札幌選手寮 しまふく寮の レシピ紹介

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は
食農パートナーです！

Vol. 3

「牛乳でつくる！
北海道♪ミルクカルボナーラ」

- 作り方**
- ①「特選よつ葉牛乳」を使います。
 - ②鍋に湯を沸かし、フェットチーネを通常より1分短めにゆでる。
 - ③ペーコンは1cm幅に切り、ニンニクはみじん切りにする。卵は溶いておく。
 - ④フライパンにバターを入れて火にかけ、ニンニク、ペーコンを炒め、香りが立ってきたら薄力粉をふり入れて混ぜる。
 - ⑤「特選よつ葉牛乳」を注いでひと煮立ちさせ、塩を加えて弱火にする。
 - ⑥ゆで上がったフェットチーネをざるにあけ、湯を切って⑤に入れ、軽く混ぜて火を止め、③の溶いた卵を加えてよく混ぜる。
 - ⑦⑥を器に盛り付け、ブラックペッパーをふる。

レシピの特徴

生クリームやチーズがないときでも、「特選よつ葉牛乳」の上質なコクで、すっきりとまろやかなカルボナーラが楽しめます。フェットチーネがない場合は、普通のパスタでもおいしくつくれます。

小松先生のコメント

北海道コンサドーレ札幌の管理栄養士
練習や試合前のエネルギー補給に必要な「炭水化物」、「ビタミンB1」、「ビタミンB2」、「カルシウム」をすべて兼ねそなえたレシピです。試合の3時間前、1試合分にピッタリのメニューです。1時間半、2時間の練習前にはパスタを増量で！皆さんもぜひ、お試しください。



北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、
相互連携協定を結び、食農教育・社会貢献活動を展開しています！



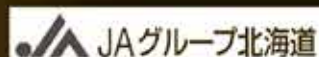
●コンサ・土・農園



●よい食JA親善大使

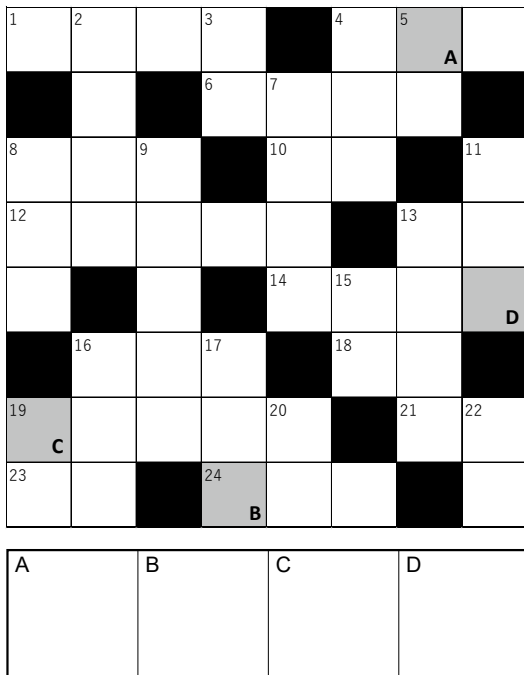


JAグループ北海道は、「コンサ・土・農園」や「よい食JA親善大使」を通じて、
北海道コンサドーレ札幌とともに、食の重要性を幅広く発信しています。



クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



10月号の正解は

「ハロウィン」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 日当 文子 様
深川市 久松千津子 様
北竜町 三上ゆかり 様

【タテのカギ】

- 2 野球で一・二・三塁の全てに走者がいること
- 3 今日の朝
- 4 小さな鉢
- 5 わからないことを尋ねること。
- 6 問題。「〇〇合わせ」
- 7 年下の女のきょうだい
- 8 明るさを感じさせるもの。「太陽の〇〇〇」⇔闇
- 9 ネジを回すときに使う道具のこと。ドライバー
- 11 周囲が回転しているような感覚。
- 13 草木の生えていない山
- 15 昆虫のさなぎが成虫になって、羽がはえること
- 16 からくり。構造。物事を企てる「複雑な〇〇〇」
- 17 皮膚の表面にある、毛の生える穴
- 19 竹や針金などを編んで作った物を入れるもの「買い物〇〇」
- 20 華やかさがなく、控えめなさま⇔派手
- 22 八本の足を持つ軟体動物。

【ヨコのカギ】

- 1 儲けなどをほぼ等分に分け合うこと。折半
- 4 言語。人間が考え等を伝えるために使う「〇〇〇遣い」
- 6 植物を植えて育てること
- 8 昼間寝ること
- 10 白い食べ物。お正月などによく食べられる「鏡〇〇」
- 12 あやしいけもの。特撮作品の敵役として登場する
- 13 海や湖の水際に沿った平らな陸地。「砂〇〇」
- 14 陶磁器を作る技芸・工芸
- 16 品物・郵便物などを種類別・用途別などに分けること
- 18 蚊を防ぐために吊り下げて周りを覆う、目の細かい網
- 19 料理の味を引き立てるために別の調味料を少し加えること
- 21 胸から足が分かれているところ。足の付け根
- 23 いらなくなつて捨てる物。くず。「〇〇箱」
- 24 感情が強く動かされた時に目から出てくる液体

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切12月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和4年2月号に掲載します。

【送り先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課 FAXの場合は 0164-22-8611

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

十一月俳句

●雨電俳句会

峰の陽をあつめて棚田草紅葉
靴底で草分け探す栗拾い
秋深し無聊をかこつ詰将棋
稲刈りを終える明日の雨模様
何もかも今日は順調天高し
小枝伸び道に栗の木実を落とす

●「道」俳句会 北竜支部

冬に入るエコ生活に学ぶ日々
探したる帽子に栗のあふれいて
通り名はかん太郎です北風吹けり
男郎花やがて閉鎖の道の脇
晩秋や農家のんびり散歩道
七坂を歩き半ばで冬に入る
晩秋やどこを向いても思がある
ウォーキング背にする月に励まされ

●土筆俳句会

石ひとつ置かれ空家に穴まどひ
栗穿つ虫も栗好き雲迅し
京の町ぶらり歩いて蒸鮓を
諭されて飲みしあの頃玉子酒
親木より散りし木の葉や根に添える
写メ届く冬化粧した大雪山
コロナ禍のお洒落楽しむマスクかな
結末のドラマ見たさに毛糸編む
紅葉黄葉吹かれからころ肩に手に

大林アヤ子

北川 満江

小山 邦男

松木 五月

宮武めぐみ

吉見サヨ子

山本 玲子

山岸 正俊

阿部れい子

吉尾 広子

山下 好晴

中島 雅子

宮脇美和子

佐藤美智子

高尾美津子

池田 美知

山川 輝子

南川富美子

佐藤英三子

滝口富美子

菅原 優子

森田裕美子

小橋 厚子

第11回理事会〈令和3年10月29日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 令和3年度12月 営農懇談会日程及び非常勤理事の他地区懇談会の出席について
6. 固定資産の取得について
7. 令和3年度出資増口について
8. 職員の人事及び業務事故について
9. 第30回 JA北海道大会の参加について
10. ALM委員会の報告について
11. 貸出金の貸付報告について

議案第1号 固定資産の処分について

議案第2号 理事に対する貸出承認について

1. 本所移転に伴う令和4年4月以降の就業時間について

12. 米の需給情勢と令和4年産「生産の目安」設定の方向性について
13. 令和3年産 水稻の9.25現在における作柄状況について
14. 令和3年産 米集荷状況について
15. 令和3年産 農産物集荷状況について
16. 畜産物の販売実績について
17. 青果・花き集荷販売実績について
18. R3青果・花き生産振興対策（実績）について
19. 農薬予約奨励支払について
20. 温床資材の価格設定について
21. 農薬・温床資材予約推進について
22. 経済部事業実績について

議案第3号 貸出金の貸付について

2. 市内3支所の「効率化店舗」への移行について
3. ATM稼働日等の変更について



組合員の動き

(令和3年10月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,339	14	37	1,316
	団体	91	3	0	94
准組合員	個人	5,703	51	45	5,709
	団体	274	2	0	276
正組合員戸数		959	4	25	938



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和3年10月実績

○累計（R2.12～R3.10）

発電電力 **42,674kWh**

発電電力 **531,002kWh**

計画対比 + 12,240kWh

計画対比 + 129,247kWh

前年対比 + 1,233kWh

前年対比 + 8,253kWh

